

平成青木時報

2014年（平成26年）1月1日 第7号 発行：平成青木時報編集部 題字：三四六

謹賀新年



新年のご挨拶

平成26年の迎春、お慶び申し上げます。
 昨年は7月の創刊から始まり、9月の青木若者会議、11月の産業祭出店、メディアでの紹介など、皆様に大変お世話になりました。

取材のご協力、記事についての貴重なご意見、編集部への応援、まことにありがとうございます。活動を進めるうち、隠れた青木村の魅力を知り、ますますやりがいを感じ、村への愛着を深めています。今後未熟ながら、皆様に身近な情報を発信するため、精一杯頑張りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願ひします。

年始ということ、村内の神社を巡りました。
 各地にお堂やお寺も多数あり、長年村に住んでいる編集部員ですら未知の場所も。

山間の壮大な景観、希少な文化財、ご神木の殿かな佇まい。村の歴史が積みかさなった重みを感じることに、今年度の活動の励みになりました。

村内の主な神社

				
阿鳥川神社（当郷）	宮渕神社（沓掛）	子檀嶺神社中社（入田）	恋渡神社（入奈）	夫神神社（夫神）
				
豊受神社（中挾）	奈良本神社（下奈）	子檀嶺神社里宮（中村）	日吉神社（殿戸）	村松神社（村松）

青木時報を学ぶ

大正 12 年 1 月 1 日 第 14 号号より抜粋

「大正 12 年を迎ふ」物価や景気の心配が書かれているが、お正月はお正月らしい気持ちになりたいと書かれている。

「世界は動く」青木村でできた蘭がフランスのリオンで人造絹糸になり、アメリカの銅が青木村でバケツとなつて使われる。世界の動きが青木村に波紋を送る。世界の出来事に注目しなければならぬ。また、弱いものが勝手に軍隊を出して他人の領地を征服できたのは昔のことと、戦争に進む昭和の時代の前に、平和的な言葉が書かれている。

「新年の挨拶」では、生活の上の意味あらしめようではありませんか、と締めくくられているのが印象的である。

大正十二年を迎ふ

い、い、の歳を経て、い、の歳を迎ふ。大正十二年は、如何なる年なるべきか。不景氣のどん底に落ちて、い、の如く首の廻らざる年なるべきか。如何。

惟ふに、大正十二年は、券銀低下の年なるべく、券銀の低下は、物價の下落と因果關係を結び、行く所まで行きつくなるべし。それ禍福は、あざなへる繩の如しとかや、大晦日のあくる日は元旦なり。行く所まで行きつくさざるべからず。

今年の歳の値、小製絲家のふところ具谷悪しけれど、お得意先の亞米利加の景況、案外よろしき方に向ひつゝあるもの、如ければ、先づ以て、い、の歳のそれと大差無き見當と見て差支なかるべし、かさり年、油断は大敵、相當警戒の要あるべし、依然として、内容の充實を圖るの秋なり。

世界は動く

十二月の重大な出来事
青木村で出来た海軍がフランスのイマムで人造絹糸の心になり、アメリカの銅が青木村でバケツとなつて使われる。世界の動きが青木村に波紋を送る。

近東會議

十一月二十日から瑞西ローザンヌで開かれてゐる近東會議は、今も尚つて開かれてゐる。これも歐洲にこそは重要な會議で、今年開かれたトルコとギリシヤの戦争でギリシヤがトルコに破れた事はまだ耳新らしい事である。つまりその媾和會議であるが、主としてトルコの治外法權撤去、ダーダネルス、ボスフォラス、兩海峡の管理權等が、今も尚つて開かれてゐる。この會議には、英佛伊等は勿論、日本も參加し、米國も傍聴して參加し、露國代表も裏面に働いてゐる。歐洲各國の勢力は今やこの近東に集中して互に自分の利益を喰ふやうにしてゐる。

新年の祝詞と共に、はげしい生活の給と戦ひつゝ着々築かれてゆくあなた方の生活の上とすくすく幸福あらん事を祈ります。

- 青木村役場
- 青木小学校
- 青木村軍人優待會
- 青木村軍人分會
- 青木學校同窓會
- 青木村青年會

ひをしたのはつひ大正三年の秋だつた。つゞいて山東省は獨逸から日本の手に移つて今日に及んだのである。その爲めに日支の國交は常に面倒が起きて日本も手古摺つてゐた。十二月一日、五日の國印はれぬもので、十二月一日、五日の國印によつて日本は過去八年間の經營を擲つて山東省全部を支那に還付する事になりつゞいて軍隊も全部撤退する事になつた。昨年ワシントン會議に於いて山東還付を聲明し、本年六月以來我公使と支那委員との間に折衝が始つて以來は、物別

野沢菜アレンジレシピ

信州の冬の食卓を彩る野沢菜。長く漬け込むことによって乳酸発酵するため、ビタミンCや食物繊維が豊富で、長生きの秘訣ではないかと言われています。

浅漬け、古漬け、油炒めと調理法はさまざま。漬け方も家庭によつて違い、とうがらし・昆布・しょうゆ・酢・砂糖など、各種香料が用いられるようです。

季節になると野沢菜がたくさんあつて食べ切れない。そんな悩みを解決するため、レシピを紹介します。

○チャーハン

古漬けを刻んで具にします。しゃきしゃきの歯ごたえで子どもにも大人気♪

○かつおぶし

乳酸菌独特の酸っぱさが気になり始める頃、削り節をかけると臭みが消えます。和風で美味しい。

○マヨネーズ炒め

野沢菜とマヨネーズの相性ばっちり。たっぷりの油を使うといいかも。

○キーマカレー

野沢菜がしよっぱ
マカレココロッケ
潰したら、カレーを潰したじゃがいもに上記のキーマカレーを混ぜて。



スナックぶーけ



営業時間 : 18時~24時
定休日 : 不定休
住所 : 青木村田沢 3298-1
電話番号 : 0268-49-1187

カラオケ無料。セット料金で 2,000 円から。おつまみ 3 品がついてくるので、2 次会にもぴったりだ。笑顔の素敵なママが出迎えてくれる。

俵屋(たわらや)



営業時間 : 11時~14時 17時~不定
定休日 : 不定休
住所 : 青木村村松 154-2
電話番号 : 0268-49-2732

昼は定食など、夜は飲み屋としても営業中。手ごろな値段で新鮮かつボリュームのある食事ができる。冬の時期は鍋もおいしくオススメ。

青木フィーリング ～知らない青木に出かけよう～

村にある民話をご存知ですか？今年の干支は馬ということで、馬が出てくる民話を紹介します。

「岳ののぼり」

夫神山の山頂に雨乞いのため社(やしろ)を作ることになりました。夫神村と別所村、どちらを正面にするか話し合いましたが、どちらの村も譲りません。あるお年寄りが、「両方の村から夫神岳のてっぺんに向けて馬を走らせ、先に着いたほうの村に社を向けたらいい」と言いました。

困ったことに馬は一頭しかいません。どちらかが牛を使うことになり、くじで決めようと代表者が引いたところ、夫神村が馬に決まって喜びました。一方、牛に決まった別所村の人達はがっかりしました。馬は足が速いからです。

競走の前日。夫神村の人々は「エサをあたえないでおけや、早く食べたいから早く走るべえ」と馬にエサを与えませんでした。別所村の人々は「さあ、たくさん食べておいて、明日は頑張ってくれ」と牛にたくさんエサを与えました。

山頂にのろしが上がりました。夫神村からは馬が、別所村からは牛が、頂上を目指して駆けました。馬は途中まで勢いよく走っていきましたが、何しろお腹が空いて、動けずに座り込んでしまいました。牛はのそりのそりと歩いていますが、エサをたくさん食べていたから、疲れた様子もなく、しまいには心配してついで来た人を背に乗せて頂上に辿り着きました。

夫神岳の社は別所村に向けられました。それからのお祭りは、夫神村は山の中腹で行ない、別所村の祭りはのぼりを持って頂上で行なうようになりました。

参考文献『青木村の伝説と民話』沓掛昭典編・豊文社印刷所発行・昭和53年7月刊

青木村にはたくさんの言い伝えがあります。民話を読んで昔の村を感じてみませんか。(月香)



ふるさとかるたでお正月
青木村の『ふるさとかるた』をご存知ですか。平成17年度に、青木村保育園・小学校・中学校一貫教育ふるさと学習委員会
が制作したものです。
句(5・7・5)と、絵を子どもたちが描いているので、
見ているだけで微笑ましくなります。と思えば、完成度の高
い作品もあり、自然に囲まれて育った青木村の子どもの観察
力に感心しました。
ふるさとかるたは青木村図書館で閲覧できます。実際に借
りすることもできるので、家族や友達とやってみてはいかがで
しょうか。こたつを囲んでのかるた大会は、盛り上がること
間違いなしですよ。

居酒屋くっかけ

営業時間: 17時～22時半 定休日: 9のつく日
住所: 青木村田沢 128-8 電話番号: 0268-49-2239

旬の料理が出てくる家庭的なお店。生地からこだわったピザはたっぷりの具で食べごたえ抜群です。宴会料理もリーズナブル。予算に応じた宴会が楽しめます！

第6号(12月1日号) お詫びと訂正

先月号で「居酒屋くっかけ」さんの紹介記事に誤りがありました。「ピザ1,000円」の記載が正しくは「800円」です。また、飲み放題プランがあるという記載がありましたが、飲み放題プランは行なっていません。

読者および関係者の皆様へ、ご迷惑をおかけしたことを深くお詫びし、訂正いたします。申し訳ありませんでした。

ふるさとCM大賞「町村会会長賞」を受賞

12月1日(日)、長野市若里市民文化ホールにて、「abn・八十二ふるさとCM大賞NAGANO」最終審査会が行われた。長野朝日放送が主催。ふるさとへの想いを30秒のCMに込めて競うコンテストだ。

青木村からは村内の若者が結成した「Uターン同級生」が応募。一次予選を突破できるのは、83作品中25作品という狭き門だが、パラパラ漫画で温かみのあるCMをつくった彼らは、見事に最終審査会へ出場した。

CMを制作した西澤裕樹さん(31)は、パラパラ漫画の魅力で「素朴でありながら表現の奥が深い」と語る。30秒のCMをつくるのに62枚の原画を描いたそうだ。出産をテーマに、村の子育て支援事業を紹介し、青木村で子育てしたいという若者がひとりでも増えれば、と願いを作品に詰め込んだ。

結果は見事入選！名誉ある「町村会会長賞」を受賞した。長野朝日放送で年間50回ほど放映される予定だ。5回目の応募で初受賞した同メンバー山浦正志さん(30)は、「故郷の仲間と共に村を盛り上げたい」と志を熱く語った。(K)



最終審査会の様子
左端が西澤裕樹さん、右端は司会の渡辺徹さん

絵は優しいタッチで描かれている



受賞作品は abn 長野朝日放送のホームページからご覧頂けます。
http://www.abn-tv.co.jp/program/cm_nagano/work/taisho.html

編集部からのお知らせ

○「暖恋」中止
先月号で紹介した婚活イベント「暖恋」が、編集部の諸事情で、残念ながら延期となりました。次回開催をお楽しみに。

○信州青木村から：

とどけ！この想いを。

- ・一人芝居 岩崎加根子
- ・義民太鼓こまゆみ会

日時…2月2日(日)

2回公演13時半～・16時半～
参加費…2千円(寄付金含む)

会場…俳優座劇場(東京都港区)

主催…NPO法人あい・友
03-3485-1793

○生涯学習成人講座

第5回『青木村の名所と偉人』

とクイズ青木検定

日時…1月26日(日) 14時

参加費…無料

会場…文化会館2階講堂

講師…郷土史家 杏掛貞人先生

問合せ…青木村公民館事務局

0268-4912224

内容…田沢温泉、杏掛温泉、

石芋、偉人《五島慶太氏》

偉人《宮原清氏》

平成青木時報は、青年グループ「泥百笑(どろひやくしょう)」が、平成25年度長野県地域発元気づくり支援金を活用し、制作しています。

信濃毎日新聞 日刊スポーツ
朝日新聞 スポーツニッポン
毎日新聞 日刊工業新聞
日本経済新聞 週刊上田

新聞のご用命は・・・

東郷堂

青木村の新聞配達は私達が担当しています。

小宮山克子 TEL: 49-2180
増田 久義 TEL: 49-2880
林 真理 TEL: 49-2726



ご意見・ご感想お待ちしております。

投稿イラストや写真も募集中です。

平成青木時報編集部 代表 山浦和徳

電話 090-2308-8270

メール aokijiho@gmail.com

ホームページ <http://doro100sho.jimdo.com/>

Facebook <https://www.facebook.com/aokijiho>

Twitter @aokijiho

